

科目名	※成人看護学概論	単位	1	時間	30	講師名	教員
開講時期	1年生 1学期						
科目の目的と概要	ライフサイクルにおける成人期の特徴を身体的・精神的・社会的側面から理解し、生活習慣病などの健康上の問題を予防するための保健・医療・福祉システムを理解する。そしてその人にとっての最適な健康を維持・促進するための看護を学ぶ。成人期の看護を考えるうえで基本的な看護の理論を学び、急性期・回復期・慢性期・終末期の経過にある人の看護を考える。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP4、DP5の達成に寄与						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、健康問題を説明することができる</li> <li>2. 成人の生活と健康を支える保健・医療・福祉システムについて説明することができる</li> <li>3. 成人看護に必要な基本的アプローチを説明することができる</li> <li>4. 成人看護に活かせる看護理論を述べるることができる</li> <li>5. 健康障害(急性期・回復期・慢性期・終末期)を持つ成人へのアプローチ方法を説明できる</li> </ol>						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 成人の特徴 1) ライフサイクルから見た成人期の区分 2) 成人各期の特徴(青年期・壮年期・中年期・向老期) 発達段階・発達課題(エリクソン・ハヴィガースト・レビンソン) 身体的・精神的・社会的特徴					2	講義
2	2. 成人の生活と健康 1) 成人の生活状況の特徴 2) 成人の健康の状況(生と死の動向、健康格差、生活習慣病、成人各期の健康問題)					2	講義 演習
3	2. の調べ学習したことをグループで発表・まとめ					3	講義・演習
4	3. 成人の保健医療福祉システム 1) 保健にかかわる対策 健康増進・生活習慣病対策 2) 医療にかかわる対策 医療法の改正・21世紀の医療提供対策 3) 福祉にかかわる対策 障害者福祉・高齢者福祉 4) 保健医療福祉システムの連携					2	講義
5	4. 成人への看護アプローチの基本 1) 成人看護に活かせる看護理論(中範囲理論) 2) 大人の学習(成人教育・アンドラゴジー) 3) 集団(グループ)へのアプローチ					2	講義
6	4) 家族支援 5) 自己効力					2	講義
7	5. 成人の健康レベルに応じた看護 1) 看護における経過 2) 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 生命の危機的状態、急性期にある人の特徴					2	講義
8	急性期にある人の看護 ・危機理論(アギユララとメズイックのモデル・フインクの危機モデル)					2	講義
9	3) 慢性病との共存を支える看護 慢性病患者の経験する無力感					2	講義
10	慢性病との共存を支える看護 ・病みの軌跡					2	講義
11	4) 障害がある人の生活とリハビリテーション 障害とは 障害がある人の障害の認識過程					2	講義
12	障害がある人とその生活を支援する看護 ・コーンの危機理論・エンパワメント					2	講義
13	5) 人生の最期のときを支える看護 人間にとっての死、全人的苦痛、死とともに生きること 意思決定支援、アドバンスケアプランニング、死の準備教育					2	講義
14	人生最後のときを支える看護 ・死の受容過程					2	講義
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(医学書院)、看護のための人間発達学(医学書院) 臨床看護学叢書2 経過別看護(メヂカルフレンド社)、看護実践に活かす中範囲理論(メヂカルフレンド社)						
関連科目	教育学、倫理学、人体の構造演習、病態生理学総論、健康支援論、保健医療論 看護学概論、成人看護学、老年看護学概論						
その他	※ この科目は実務経験のある教員による授業科目である。						

科目名	成人臨床看護総論	単位	1	時間	30	講師名	院内講師・教員
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	がん医療、がん看護の概要を理解し、急性期(手術療法、緊急・集中治療)、リハビリ期、慢性期、終末期にある成人期の患者に対する看護を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. がん医療やがん患者の看護が理解できる 2. 成人看護や家族が共通に体験する問題や状況を取り上げ、必要な看護を考えられる						
回数	教育内容				時間	方法	
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1.がん医療の現状と看護、がんの病態と臨床経過 がんサバイバーシップケア、AYA世代				2	講義	
2	1.がん患者の看護 がん患者の苦痛に対するマネジメント、がん患者の心理的サポート がんの予防と早期発見 臨床試験を受ける患者のケア				2	講義	
3	1. がんの治療、がん治療の場と看護				2	講義	
4	1. がん治療に対する看護 がん治療における看護の重要性 がん手術療法、薬物療法、放射線療法における看護				2	講義	
5	1. 緊急・集中治療を受ける成人期の患者と家族の看護 救急救命時の看護・心肺蘇生				2	講義	
6	1. 緊急・集中治療を受ける成人期の患者と家族の看護 救急救命時の看護・心肺蘇生				2	講義	
7	2. 慢性疾患をもつ成人期の患者と家族の理解 基本理論を用いた看護の考察				2	講義 演習	
8	2. 慢性疾患をもつ成人期の患者と家族への看護 事例を用いた生活指導の実際				2	講義 演習	
9	3. 手術療法を受ける成人期の患者の看護 手術前から手術後にある患者・家族の経過と術後合併症をふまえた看護				2	講義	
10	3. 手術療法を受ける成人期の患者の看護 術後ベッドの作成と環境整備 手術直後の観察の視点				2	演習	
11	3. 手術を受ける患者の看護 手術前から手術後の経過をふまえた患者の看護計画の考え方				2	講義 演習	
12	4. リハビリテーションを必要とする成人期の患者と家族の理解 基本理論を用いた看護の考察				2	講義	
13	4. リハビリテーションを必要とする成人期の患者と家族の看護 障害がある人と家族の生活を支援する看護師の役割				2	講義	
14	5. 成人期にある死にゆく患者と家族への看護 人生最期の時をすごしている対象の理解				1	講義 演習	
15	5. 成人期にある死にゆく患者と家族への看護 臨死期の看護、臨死期における看護師の役割				2	講義	
16	終講試験				1	試験	
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 別巻 がん看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(医学書院) 臨床看護学叢書2 経過別看護(メヂカルフレンド社) 高齢者と成人の周手術期看護1 外来/病棟における術前看護〔1〕(医歯薬出版) 高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護〔2〕(医歯薬出版) 高齢者と成人の周手術期看護3 腹腔鏡下の手術を受ける患者の看護〔3〕(医歯薬出版)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、病態生理学Ⅰ～Ⅳ、病態アセスメント演習、臨床看護総論、成人看護学						

科目名	成人看護方法論 I	単位	1	時間	30	講師名	院内外講師
開講時期	2年生 1学期 2学期						
科目の目的と概要	成人期の慢性疾患を持つ患者の看護について学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 成人期の身体防御機能障害(HIV/AIDS)のある患者の看護が理解できる 2. 造血器腫瘍(白血病、悪性リンパ腫)のある患者の看護が理解ができる 3. 呼吸機能障害(結核)のある患者の看護が理解できる 4. 内部環境調節機能(糖尿病)のある患者の看護が理解できる						
回数	教育内容	時間	方法				
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 身体防御機能障害(HIV/AIDS)のある患者の看護 HIV/AIDSとは 歴史について 血友病とHIVについて 病気の経過	2	講義				
2	検査・治療を受ける患者の看護 HIV/AIDS看護の専門性 初診時の対応 担当看護師の役割 曝露予防 曝露後予防内服 針刺し事故防止	2	講義				
3	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 造血器腫瘍(白血病)のある患者の看護	2	講義				
4	造血器腫瘍(悪性リンパ腫)の患者の看護	2	講義				
5	輸血を受ける患者の看護 骨髄移植を受ける患者の看護	2	講義				
6	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 3. 呼吸機能障害(結核)のある患者の看護 結核の病態生理 症状に対する看護 検査、治療を受ける患者の看護	2	講義				
7	結核患者の看護、急性期の看護 DOTSの実際 慢性期の看護 生活指導	2	講義				
8	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 4. 内部環境調節機能障害(糖尿病)のある患者の看護 患者の特徴・症状に対する看護 検査・治療を受ける患者の看護	2	講義				
9	合併症の看護	2	講義				
10	高血糖に伴う身体症状、シックデ이의対処法	2	講義				
11	セルフケア・自己管理への看護(糖尿病教室)	2	講義				
12	妊娠糖尿病・小児糖尿病の看護 周手術期の糖尿病患者の看護	2	講義				
13	事例を用いて糖尿病患者への指導(事例提示) インスリン注射・血糖測定の実際	3	講義 演習				
14	事例を用いて糖尿病患者への指導 (看護計画の立案・指導パンフレット作成・ロールプレイ)	2	講義 演習				
15	終講試験	1	試験				
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー/膠原病/感染症(医学書院) 系統看護学講座 別巻 がん看護学(医学書院)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、病態生理学Ⅰ～Ⅳ、病態アセスメント演習、臨床看護総論、成人看護学						

科目名	成人看護方法論Ⅱ	単位	1	時間	30	講師名	院内外講師
開講時期	2年生 1学期 2学期						
科目の目的と概要	急性期を経て回復し、慢性期に移行する疾患を持った成人期の患者の看護について学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 消化・吸収機能障害(直腸がん)のある患者の看護が理解できる 2. 循環機能障害(虚血性心疾患)のある患者の看護が理解できる 3. 移植を受ける患者と家族の看護が理解できる						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 消化・吸収機能障害(直腸がん)のある患者の看護 排泄障害のある患者の特徴					2	講義
2	便秘・下痢のある患者の看護、排泄物による皮膚障害					2	講義
3	下血のある患者の看護					2	講義
4	検査(大腸ファイバー・直腸診)を受ける患者の看護					2	講義
5	外科的治療を受ける患者の看護(人工肛門造設術、低位前方切除) 人工肛門(ストーマ)ケアの実際					3	講義 演習
6	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 循環機能障害(虚血性心疾患)のある患者の看護 患者の特徴					2	講義
7	狭心症(胸痛)の患者の看護					2	講義
8	急性心筋梗塞の患者の看護					2	講義
9	心臓カテーテル、PICを受ける患者の看護					2	講義
10	心不全の患者の看護					2	講義
11	不整脈の患者の看護①					2	講義
12	不整脈の患者の看護②					2	講義
13	セルフケア・自己管理への看護(心臓リハビリテーション)					2	講義
14	3. 移植を受ける患者と家族の看護 (ドナー・レシピエントの看護および家族への支援)					2	講義
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器(医学書院) 系統看護学講座 別巻 がん看護学(医学書院)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、病態生理学Ⅰ～Ⅳ、病態アセスメント演習、臨床看護総論、成人看護学						

科目名	成人看護方法論Ⅲ	単位	1	時間	30	講師名	院内講師
開講時期	2年生 1学期 2学期						
科目の目的と概要	がんの治療のため、手術療法・化学療法・放射線療法を受ける成人期の患者の看護について学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 呼吸機能障害(肺がん)のある患者の看護が理解できる 2. 性機能障害(乳がん)のある患者の看護が理解できる 3. 消化・吸収機能障害(胃がん)のある患者の看護が理解できる						
回数	教育内容	時間	方法				
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 呼吸機能障害(肺がん)のある患者の看護 患者の特徴 呼吸困難に対する看護	2	講義				
2	気管支鏡検査を受ける患者の看護	2	講義				
3	放射線療法を受ける患者の看護	2	講義				
4	化学療法を受ける患者の看護	2	講義				
5	手術療法を受ける患者の看護	2	講義				
6	胸腔ドレーン挿入中の看護の実際	2	演習				
7	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 性機能障害(乳がん)のある患者の看護 患者の特徴 検査を受ける患者の看護	2	講義				
8	乳がん患者の体験・心の動きとそのケア ボディイメージの変容	1	講義				
9	乳がん手術を受ける患者の看護	2	講義				
10	乳がん手術後のリンパ浮腫のケア	2	講義				
11	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 3. 消化・吸収機能障害(胃がん)のある患者の看護 患者の特徴 症状に対する看護(腹痛・嘔吐・吐血・下血・下痢)	2	講義				
12	胃切除術を受ける患者の看護(術前)	2	講義				
13	胃切除術を受ける患者の看護(術後)	2	講義				
14	胃切除術を受ける患者の看護(回復期)、中心静脈栄養	2	講義				
15	ペーパーペイシエントを用いた看護計画立案 (情報、全体像は提示)	2	演習				
16	終講試験	1	試験				
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器(医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論(医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論(医学書院) 系統看護学講座 別巻 がん看護学(医学書院) 高齢者と成人の周手術期看護1 外来/病棟における術前看護〔1〕(医歯薬出版) 高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護〔2〕(医歯薬出版) 高齢者と成人の周手術期看護3 腹腔鏡下の手術を受ける患者の看護〔3〕(医歯薬出版)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、病態生理学Ⅰ～Ⅳ、病態アセスメント演習、臨床看護総論、成人看護学						

科目名	成人看護方法論Ⅳ	単位	1	時間	30	講師名	院内講師・教員
開講時期	2年生 1学期 2学期						
科目の目的と概要	終末期にある成人期の患者の看護と特定難病指定の疾患をもつ患者の看護について学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 栄養・代謝機能障害(肝臓がん)のある患者の看護が理解できる 2. 終末期にある患者と家族の看護が理解できる 3. 特定難病指定の患者の看護が理解できる						
回数	教育内容	時間	方法				
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 栄養・代謝機能障害(肝臓がん)のある患者の看護 肝臓がん患者の特徴 症状に対する看護	2	講義				
2	肝臓がんの治療を受ける患者の看護	2	講義				
3	主要症状を有する患者の看護 腹水、浮腫、黄疸	2	講義				
4	食道・胃静脈瘤の治療を受ける患者の看護	2	講義				
5	がん性疼痛の看護	2	講義				
6	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	3	講義				
7	症状アセスメントとマネジメント 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	2	講義				
8	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 筋ジストロフィー患者の看護 疾患の特徴、援助の特性	2	講義				
9	日常生活援助、生きるを支える看護	2	講義				
10	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 3. 膠原病のある患者の看護 膠原病とは 自己免疫疾患とその機序 症状とその病態生理 検査と治療	2	講義				
11	関節リウマチ患者の看護	2	講義				
12	全身性エリテマトーデスをもつ患者の看護	2	講義				
13	シェーグレン症候群をもつ患者の看護	2	講義				
14	4. 感染症のある患者の看護 敗血症の患者の看護	2	講義				
15	終講試験	1	試験				
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症(医学書院) 系統看護学講座 別巻 がん看護学(医学書院)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、病態生理学Ⅰ～Ⅳ、病態アセスメント演習、臨床看護総論、成人看護学						